

### 令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

|               |  |
|---------------|--|
| 事業名           | ジビエ肉による根羽村地域発信計画                               |
| 事業主体<br>(連絡先) | 根羽村猟友会   |
| 事業区分          | (6)産業振興、雇用拡大 オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業 |
| 事業タイプ         | ソフト・ハード  |
| 総事業費          | 945,724 円                                      |

#### 事業内容

##### 1. 安定供給に向けた捕獲体制の強化 (GPS発信機の整備)

有害鳥獣駆除の体制の強化のため、罾猟用発信機、巻狩り用のGPS発信機を整備。11月26日～2月15日までの間で、延べ19回の貸出を実施。

##### ○発信機の活用による講習会 (11月30日)

猟犬用GPSを活用した巻狩り猟のノウハウが豊富な愛知県豊田市の猟友会員2名に来村いただき、実地使用により猟友会員の技術の養成を図った。(参加者8名)

##### ○発信機実装による巻狩り猟のデモ (12月15日)

発信機を活用した巻狩り猟の効果を発信するため、報道機関あてにデモンストレーションを行い、2社から取材を受けた。



【GPS発信機による巻狩り猟の様

#### 【目標・ねらい】

①観光客や家畜等への被害防止のため、巻狩りの際に放った犬を速やかに回収できるようにする。

②有害駆除にて捕獲した鳥獣をジビエ肉として利活用し、イベントなどで根羽村の発信をおこなう。

##### 2. 有害鳥獣のジビエ肉としての活用の推進

##### ○アイシン親子わんぱく探検隊「秋の陣」(11月9日)

村と以前から交流のあるアイシングループの方が来村する植樹イベントにおいて、鹿肉のから揚げを提供。当日は親子連れ等約200名の来場者に召し上がっていただき、ジビエ肉の美味しさを発信した。

今年度は豚コレラ対応や天候不順等によるイベント中止・不参加が相次ぎ、当初計画していたPRの機会が少なくなりました。

#### 事業効果

① 巻狩りによる有害鳥獣駆除については、以前は犬が何日失踪してしまうこともあり、高齢化した猟友会では捕まえることが困難だった。発信機を用いた場合、犬がどこにいるのかわかるようになり、観光施設等へ迷い込む前に回収できるようになった。

② 罾用・猟犬用発信機の整備により効率的に狩猟が行えるようになったため、11月～2月のシカの捕獲頭数が大幅に増加した。  
・H30：74頭 →R1：95頭 (前年比+28%)

食肉加工できる頭数も増えたほか、イベント時のジビエ肉の提供などで、鮮度の良いものを提供できるようになった。

#### ※自己評価【 C 】

有害鳥獣捕獲の効率化によりシカの食肉出荷量を増やすことはできたが、今年度は豚コレラの影響等によりイベントにあまり参加できず、ジビエPRの機会が少なくなりました。

#### 今後の取り組み

今年度は県外のイベントへの参加が出来ず、PRの機会が少なかった。豚コレラやコロナウイルスの影響により見通しが不透明な部分もあるが、5月中旬の芝桜祭り(豊根村)、8月の七夕祭り(安城市)等、県外のイベントにおいて積極的にジビエ肉のPRを行い、村の産業振興を図っていきたい。